

【教師向け資料】古典の学習指導のヒント①

①人物評づくり 仁和寺にある法師「徒然草」

◎ 「法師はくくいな人物である」の書き出しで、人物像を述べよう。

〔仁和寺の法師〕は、(○○○○○○○○な)人物である。

法師は、……………

*法師の言動を引用しながら、人物像を推察する。

(例)この法師が友人だったら、……

*「自分の友人であったら」、「もし当時、○○することができていたなら」等の想像も交えてよい。

但し、本文から類推される妥当な内容にすること。

人物評の例

〔仁和寺の法師〕は、(軽率な行動が目立つが憎めない)人物である。

法師は、行き先を調べもせず、「ただ一人、徒歩より」詣でるといふ大胆な行動に出る。たどり着いてもいない石清水八幡宮について、仲間にはすぐ「尊くこそおはしけれ」と自慢してしまう。山へ登る人々を見ておきながら、「ゆかしかりしかど(知りたかったが)」、事情を尋ねもしないのだ。

この法師は、思いこみが強すぎるのを反省すべきだ。不確かなことを自慢するのも控えるべきだ。しかし、憎めないのも事実だ。手前の寺の仏にも深く感動して喜ぶところは子供のようで、実に純粹である。この法師との付き合いは少し大変そうだが、親友にしたいなあ、と思わせられる

【教師向け資料】古典の学習指導のヒント②

②漢詩の味わい

(例：「漢詩の風景」光村図書)

「漢詩」の特色をつかみ、味わおう



【中国由来の「漢詩」の特徴を知ろう】

○ 漢文で書かれた詩である「漢詩」には、四行詩である() ()と、八行詩である(②) ()とがある。①の四行は、うたいはじめである(③) ()句、それを受けて展開する(④) ()句、場面の転換を表す(⑤) ()句、そして結びの結句、という四つの部分から成りたっており、この形式のことを、漢字四字で(⑥) ()という。

○ 漢詩はもともと中国古来の文学であるので、語順が違っていたり、言葉を補う必要があったりして、そのままでは日本人には読みづらかった。そこで。昔の日本人は、漢字の語順を入れ替えたり、足りない言葉を加えたりすることで、読みやすくする工夫を重ねてきた。

春眠不覚曉 ↓ 春眠不覚曉 ↓ 春眠曉を覚えぬ

漢字のみの漢文を

(⑦) という。

*漢字ばかりのこの(⑦)も、記号やひらがなを加えた⑧⑨も、漢文である。

これは(⑧) ()という。行の右側に、カタカナで送りがなや助詞を書き加えたり、行の左側に「レ」「一」等の記号を加えたりして、日本語調に読みやすくしたものである。

上記の(⑧)が読みやすくなるよう、漢字とひらがなによる見やすい文に直したものを、(⑨) ()という。

○ (⑧)において、語順の入替のために記号として扱っている「レ」「一」「中」などの文字を() ()という。これには、「れてん(記号：レ)」「いちてん(記号：一)」などがある。

【漢詩における表現の工夫を知ろう】

○ 漢詩では、作者の心情や場面の情景をあざやかに描き出すために、様々な工夫が凝らされる。二つのものを並立させて強調する(⑩) ()や、繰り返しにあたる(⑪) ()法、など、工夫は様々である。

○ 漢詩では、発音が共通する漢字を並べ、その響きを楽しむように表現されている。これを(⑫) ()を踏む、といい、押韻ともいう。押韻には、文末に共通の音を並べる(⑬) ()が多く用いられる。「然」と「年」はネンという音が共通しており、「鳥」「少」ではヨウ(ヨウ)という音が共通している。

【漢詩を読み、作者の思いををつかもう】

〔問〕 次の漢詩中の――部の読み方をひらがなで（現代仮名遣いにして）答えなさい。
 また、漢詩を読み、現代語訳を答えなさい。

春曉 孟浩然	春眠不覺曉 処処聞啼鳥 夜來風雨聲 花落知多少
	春眠①曉を覚えず ②処処啼鳥を聞く 夜來風雨の聲 花落つること知る多少

絶句 杜甫	江碧鳥逾白 山青花欲然 今春看又過 何日是帰年
	③江は碧にして鳥は逾よ白く 山は青くして④花は然えんと欲す 今春⑤看す又過ぐ ⑥何れの日か是れ帰年ならん

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に 之くを送る 李白	故人西辞黄鶴楼 烟花三月下揚州 孤帆遠影碧空尽 唯見長江天際流
	⑦故人西のかた黄鶴楼を辞し ⑧烟花三月揚州に下る 孤帆の遠影碧空に尽き 唯だ見る⑨長江の天際に流るるを

⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
(訳)	(訳)	(訳)	(訳)	(訳)	(訳)	(訳)	(訳)	(訳)
よみ	よみ	よみ	よみ	よみ	よみ	よみ	よみ	よみ